

令和7年度 第2回コミュニティ・スクール運営協議会



令和7年11月14日（金）
浜松市立白脇小学校 会議室

第2回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	たぐち ひろし 田口 博
副会長	つるや よしてる 鶴屋 義照
委員	やながわ じゅいちろう 柳川樹一郎
委員	しみず てつお 清水 哲夫
委員	とばやま ひろやす 外波山裕康
委員 (学校支援コーディネーター)	もちづき まな 望月 真菜
委員	おおいし えり 大石 絵理
委員	なかむら まゆみ 中村 真弓

オブザーバー

白脇協働センター	さいだ たけし 齋田 剛志
----------	------------------

学校

校長	じん ひろゆき 神 宏之
教頭	ひろの きよみ 廣野 希代美
教頭	やすかわ たけし 安川 剛史
主幹教諭 (CS担当教職員)	しんば たかふみ 榛葉 崇文
CSディレクター (学校支援コーディネーター)	うえだ けいこ 植田 敬子

浜松市教育委員会

教育総務課	すずき ようこ 鈴木 陽子
-------	------------------

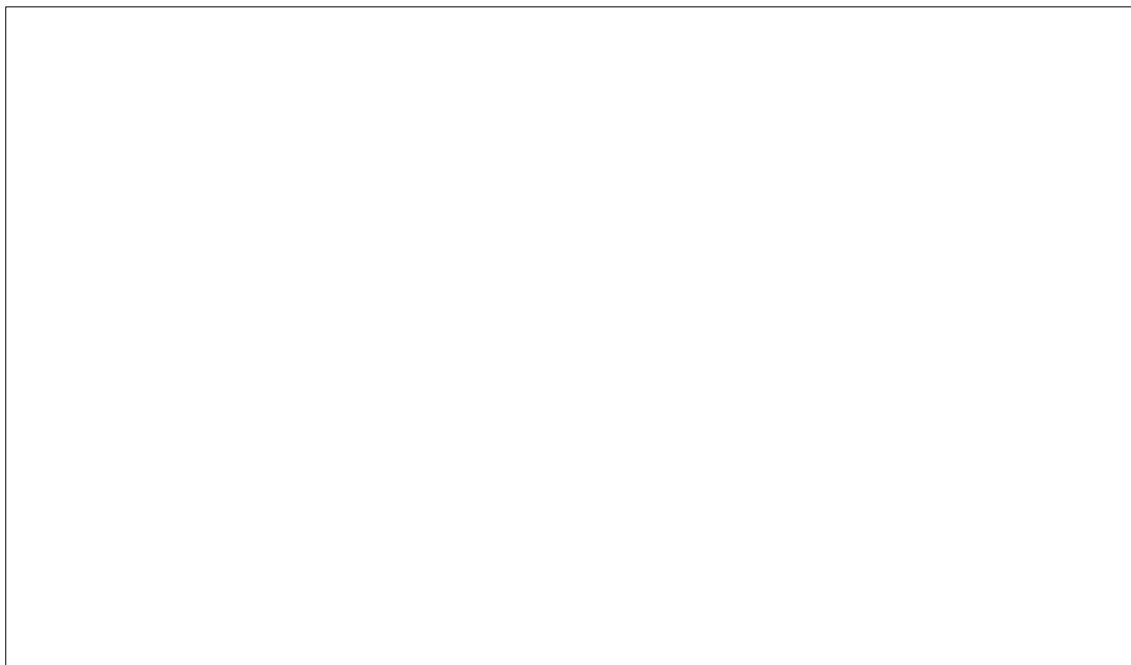
第2回白脇小学校コミュニティ・スクール運営協議会式次第

司会 椿葉

*開催要件（過半数の出席）確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 熟議
 - 特色ある学校づくり、学校の抱える課題と改善策、支援策の具体化について
 - ・「気持ちのよいあいさつができる元年」として
 - ・本校の取り組みについて
 - ・家庭でも地域でもあいさつができるようにする策
- 6 報告（教頭・CSディレクターより）
 - ・学校支援コーディネーターの活動について
 - ・学校支援ボランティアの活動報告
- 7 連絡

メモ



* 次回の学校運営協議会は、1月30日（金）13：15～15：00です。

令和7年度 浜松市立白脇小学校グランドデザイン

第4次浜松市教育総合計画 基本理念 ～「描く夢や未来の実現」～

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

南部中校区の目指す子供像 「思いやりを持ち、きまりを守る子」

学校教育目標

自立するすこやかな白脇の子 ～たくましく しなやかな子～

目指す子供像と重点（★）

頭 確かな学力

- <たくましさ>
課題解決に向けて粘り強く考える子
- <しなやかさ>
★異なる考え方を受け入れながら課題に柔軟に対応する子

心 豊かな心、豊かな人間性

- <たくましさ>
困難にも粘り強く立ち向かう子
- <しなやかさ>
★自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子

体 健やかな体、健康・体力

- <たくましさ>
自分の体力を知り、自身を鍛える子
- <しなやかさ>
自他の健康安全を考え、行動する子

◇課題解決に向けて粘り強く考える子

- ・「個別最適な学び(指導の個別化、学習の個性化)」の充実
- ・学習の基盤づくりとしての「白脇スタンダード」の活用と充実
- ・学び方や考え方などの学習の基礎基本の定着

◇異なる考え方を受け入れながら課題に柔軟に対応する子

- ・「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善
- ・「協働的な学び」の充実

◇困難にも粘り強く立ち向かう子

- ・温かな支援と振り返りを生かして社会的資質や行動力を高める生徒指導

◇自他の思いを大切にしつつ折れにくく回復力がある子

- ・友達や異学年との関わりの中で子供の自発的・自動的活動を大切にした特別活動
- ・「思いやり」「挨拶」を柱とした指導や支援（挨拶や会釈の推奨）
- ・道徳教育の充実（学年内担任交替授業の実施）
- （道徳ファイルの活用）

◇自分の体力を知り、自身を鍛える子

- ・確かな運動技能・知識を身に付ける授業づくり
- ・年間を通して運動の習慣化（体力アップ100点カード、なわとびカード、体力アップ月間の設定）

◇自他の健康安全を考え、行動する子

- ・命を守るために正しく行動する力を身に付ける安全指導
- ・けがの防止・心身の健康につながる保健指導
- ・いのちに関する授業の実施

ICT活用 タブレット端末利活用

確かな子供理解 ～一人一人に徹底的にかかわる教育～

「自己決定能力」「自己存在感」「共感的人間関係」「安全・安心な風土」

キャリア教育★「自分をみがく力」・「かかわる力」

基礎的・汎用的能力 ★「のりこえる力」・「みらいにつなげる力」

安心・安全を守る

- ・いじめ防止基本計画の確実な実施と見直し
- ・けが0・事故0をめざす学校環境づくり

開かれた学校づくり

- ・コミュニティ・スクール<3年目>（学校運営協議会との協働）
- ・積極的・計画的な情報発信
- ・子供・保護者に徹底的に寄り添う相談体制

《振り返りのポイント》

(様式 2)

令和 6 年度 学校運営協議会自己評価表 委員名 ()

＜本年度の目標＞

- ※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。
- ※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目 2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。
- ※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目 4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ※ 委員個人の目標だけではなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1		校長の説明を聞いて、分からぬ用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
		基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
		学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
		学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
		学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2		学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
		熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
		これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
		協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

学校評価

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。(学校教育法第42条)

小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。(学校教育法第43条)

上記の学校教育法第42条の規定を受けて、学校教育法施行規則を平成19年10月に改正し、

・自己評価の実施・公表(第66条)

・保護者など学校関係者による評価の実施・公表(第67条)

・それらの評価結果の設置者への報告(第68条)

について、新たに規定しました。

令和7年度 学校評価項目			
観点	児童	保護者・学校運営協議員	教職員
時期	11月末	11月末	11月末
めざす学校像・ 南部中学校区 で目指す子供像	1 学校は楽しい。	子供は、楽しく学校に通っている。	児童は、楽しく学校に通っている。
	2 自分のことを大切にしている。	子供は、自分のことを大切にしている。	児童は、自分のことを大切にしている。
	3 相手の気持ちを考えて行動している。	子供は、相手の気持ちを考えて行動している。	児童は、相手の気持ちを考えて行動している。
	4 自分で決めためあてにねばり強く取り組むことができる。	子供は、めあてに向かってねばり強く取り組むことができる。	児童は、めあてに向かってねばり強く取り組むことができる。
	5 誰とでも協力して活動に取り組むことができる。	子供は、誰とでも協力して活動に取り組むことができる。	児童は、誰とでも協力して活動に取り組むことができる。
	6 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができる。	子供は、「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができる。	児童は、発達段階に合った「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができる。
	7 学校には、困ったことや悲しいことを相談できる人がいる。	学校は、困ったことを相談しやすい。	児童は、困ったことがあると、一人で抱え込まずに、相談しやすい人に話すことができる。
	8 働くことの大切さがわかり、係や当番活動(、委員会活動)に取り組むことができる。	子供は、働くことの大切さを理解し、活動に取り組むことができる。	児童は、働くことの大切さが分かり、係や当番活動、委員会活動に取り組むことができる。
	9 「聴いて 考えて つなげる」学習を通して、学習した内容が分かる。	子供は、学習した内容を理解している。	児童は、学習内容を理解している。
	10 「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつができる。	子供は、「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつができる。	児童は、「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつができる。
	11 自分や友達の安全に気を付けて生活している。	子供は、自他の安全に気を付けて生活している。	児童は、自他の安全に気を付けて生活している。
	12 先生は、いろいろな話を聞いてくれる。	子供は、教員にできごとを話している。	児童は、教員にできごとを話している。
	13 家の人に、学校のできごとを話している。	子供は、学校のできごとを話している。	家庭では、児童のできごとを把握している。
	14 家の人に、将来の夢や希望について話している。	子供は、自分の将来の夢や希望について話している。	児童は、自分の将来の夢や希望について話している。
	15 家の人に、頑張りたいことや頑張っていることについて話している。	子供は、自分が頑張りたいことや頑張っていることについて話している。	児童は、自分が頑張りたいことや頑張っていることについて話している。
	16 命は大切なものだと思っている。	子供は、命は大切なものだと思っている。	児童は、命は大切なものだと思っている。
	17 道徳の授業を真剣に受けている。	子供は、道徳の授業を真剣に受けている。	児童は、道徳の授業を真剣に受けている。
	18 相手がいやだと思うこと(いじめ)はしてはいけないと思っている。	子供は、相手がいやだと思うこと(いじめ)はしてはいけないと思っている。	児童は、相手がいやがること(いじめ)をしていない。
			学習活動の際に「白脇スタンダード」を活用または意識して取り組んだ。
☆ 中学校区の目指す子供像「思いやりを持ち、きまりを守る子」			教育活動の中で、キャリア教育基礎的汎用的能力「か・じ・の・み」を意識して取り組んだ。
☆ 中学校区道徳重点指導項目「生命尊重、友情・信頼、礼儀」			
○ 夏季(中間評価)では児童と教職員が評価を行い、冬季(年間評価)は保護者・学校運営協議会委員にも依頼する。			

令和7年度ボランティア活動報告

【4月～10月】

4月	<p>《2年生》 生活科：校外学習</p> <p>学校周辺の地域を歩く中で、地域の場所や人に関心を持ち、春のまちを歩く学びを行いました。</p>	
5月	<p>《2年生》 生活科：野菜の苗植え</p> <p>運動場にて、2年生全体で苗植え活動を行いました。植木鉢に土を入れる、苗を植える、支柱を立てる、水をやる等の活動を行いました。</p>	
6月	<p>《2年生》 生活科：どきどきわくわく まちたんけん</p> <p>学区内にある施設や商店をグループに分かれて訪問し、施設の方の説明・お話を聞き、見学後インタビューをする学習を行いました。</p> <p>《5年生》 家庭科：手縫いボランティア</p> <p>5年生から始まる家庭科で初めての手縫い作業。玉結び、玉留めからはじめり、縫い方の学習のお手伝いをしました。</p>	 
7月	<p>《5年生》 家庭科：手縫いボランティア</p> <p>《栽培委員会》 花の植え替え補助ボランティア</p> <p>1～5年生の各クラス2名の児童と栽培</p>	

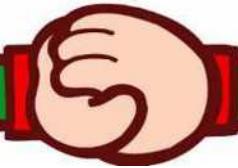
	委員でプランターに花を植える活動の補助。	
8月	<p>《全学年》 学校花壇の水やり</p> <p>校内の3か所の花・野菜にホースやじょうろを使って水やりをしていただきました。毎日日替わりで多くの児童と保護者の方が参加していただいたおかげで、今年の暑すぎる夏を、乗り越えることが出来ました。</p>	
9月	<p>《6年生》 家庭科：ミシンボランティア</p> <p>ミシン2年目でトートバッグを作りました。布を筒状に縫う、返し縫をする、バッグのひもを縫い付けなどのサポートをしていただきました。</p>	
9月 / 10月	<p>《6年生》 家庭科：ミシンボランティア</p> <p>マチを作る作業に手間取る児童もいましたが、慎重にしつけ糸の横をミシンで縫って、裏返した出来上がりに大満足の表情を見せっていました。</p>	
10月 / 11月	<p>《5年生》 家庭科：ミシンボランティア</p> <p>初めてのミシン。上糸のかけ方から、下糸の出し方、実際に縫う、返し縫いの仕方など、基礎練習から始まり、最終目的である、ランチョンマット作成までの補助に入っていただきます。</p>	



令和7年7月9日

白脇コミスクだより No.1

＼やらまいか！／ 地域とともにある学校づくり



●本校でのコミュニティスクールも3年目に入りました。学習支援を中心として、多くの保護者、地域の方々に御協力いただいております。

（）コミュニティスクールとは？

コミュニティスクールは、学校運営協議会を設置している学校のことをいいます。校長が推薦し浜松市教育委員会が任命をした地域住民や保護者の代表が委員となり、学校の目標や課題を学校と共に熟議・共有し、学校の運営に取り組むことで、地域と一緒に特色ある学校づくりを進めていく活動です。

★本年度の学校運営協議会委員を紹介します。★

- 会長 田口 博(白脇地区社会福祉協議会会長)
- 副会長 鶴屋 義照(元校長)
- 柳川 樹一郎(浜松市議会議員)
- 清水 哲夫(白脇地区連合自治会長)
- 外波山 裕康(民生児童委員副会長)
- 望月 真菜(令和5年度PTA会長、学校支援コーディネーター兼務)
- 大石 紘理(令和6年度PTA会長)
- 中村 真弓(令和7年度PTA会長)



●学校支援コーディネーターについて

本校でも学校支援コーディネーターが配置され2年目を迎えました。学校が必要とする教育活動等を支援するために、学校と地域の方々とを結ぶ役割を担っています。1学期は生活科や家庭科の保護者ボランティア、夏休みの水やりボランティアの募集を行っております。2学期は学習支援ボランティア募集に加え、校外学習、町探検のコーディネートを行う予定です。

●登録ボランティアの募集

今年度も、「白脇小応援団！」と称して、随時登録ボランティアを募集しております。豊かな人生経験を子供たちの教育に生かしていただけませんか？特別な資格や専門的な知識・技能は必要ありません。ご都合に合わせてご参加いただけます。お問い合わせ、登録ご希望の方はこちらまで。



https://docs.google.com/forms/d/1IHR-Y-SHsUT8XOzr7i-6ifuORlydNT7y_yKAch7IZAI/edit

●第1回学校運営協議会を開催しました。

5月22日に第1回学校運営協議会が開催されました。校長より白脇小学校学校運営基本方針および、いじめ防止等の基本的な方針が示され、白脇小学校グランドデザインの要点説明がなされました。その後、本年度を「気持ちのよいあいさつができる元年」とし、あいさつから人間関係、信頼関係の構築を進めたいとの報告がありました。そして、学校目線での取り組み説明後、保護者目線、地域目線で、子供のあいさつの現状に対する発言を求めました。



様々な発言の後、校長より、教職員（大人）の中にも温度差のある現状を鑑み、まずは大人から進んであいさつをする共通認識を持つ必要性があること、評価の難しさはあるが、焦らず一步一步進めていきたいと発言がありました。

次回の第2回会議は令和7年11月14日(金)午後13時15分から会議室で行います。

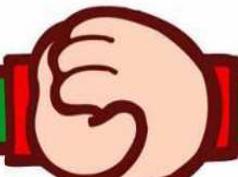


令和7年9月12日

白脇コミスクだより No.2

夏休み中の水やりボランティアありがとう号

＼やらまいか！／ 地域とともにある学校づくり



猛暑が続いた夏休み期間中、多くの児童・保護者の皆様の御協力の下、花壇の水やりをしていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

ボランティアをしていただいた皆様から、感想や改善点をいただきましたので、御紹介したいと思います。（おおむね、原文のまま載せさせていただきます。）

夏休み水やりの感想

- ・親子で行けたのが楽しかったようで、またやりたいと言っていました。楽しくボランティアができる機会をありがとうございます。
- ・小1なので、今回初めてで不安もありつつでしたが、入れ替わりのタイミングの保護者の方に教えていただき、進級したらこういった植物も育てるんだと知る事ができ、夏休み中に学校へ親子で行く良い機会となりました。また来年も参加できたらと思います。
- ・貢献できてとても嬉しかったです。
- ・時間帯が午前、午後の都合の良い時間帯で行えば良いのは助かりました。
- ・ホースの位置がちょうど良くお水もあげやすかったです。
- ・1日だけの参加でしたが、子供自身も植物をお世話することの大切さを実感できたと思います。自宅の野菜や、あさがおの朝晩のお世話も頑張っていました。
- ・うちはマンションで庭がないので子供と水やりの経験ができてよかったです。学校が近いのでまた機会があれば参加したいです。
- ・水やりをしやすいように鉢植えを一箇所に固めていたので、やりやすかったです。
- ・子供と伺いました。久々の学校に喜んでいました。参加させていただきありがとうございました。
- ・お休み期間もみんなで順番にやるんだよー、という事を子供と一緒に実行でき、協力する事の勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学校で子供たちや先生方が大切に育てている植物の様子を見ることができて、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・子供が参加出来るボランティア活動があり良かった。喉が渴いたら自分達はいつでも飲めるけど、植物はそもそもいかないからたっぷり水をあげようね！など会話をしながらでき、いい活動でした。子供はいい経験だったと思う。
- ・ホースも使いやすくしてあって、水やりもやりやすかったです。
- ・長い夏休み、子供と学校に行けたのも楽しかったです。日中は暑すぎるので、夕方行きました。いい経験でした。こちらこそ、ありがとうございました。”
- ・説明がわかりやすく、困ることなくできました。普段関わることができないので、夏休みに何かお手伝いができたので良かったです。



- ・普段行かない学校に行って、様子が少しでも見られて良かったです。
- ・夏休み中でも、規則正しく早い時間からの水やりで身体をしっかり動かすことができました！
- ・今後の学校の在り方の一つとして勉強させて頂きました。休暇後に学校に戻ってくる子供たちを想像しながら、結構楽しませて頂きました。（何箇所か蚊に食われながら笑）
- ・運動不足になりがちな夏休み、ウォーキングがてら仲良しのお友だち親子と一緒に、夕方水やりに行きました。楽しくお喋りしながら歩くのも楽しかったですし、子供達がよく働いてくれて微笑ましく、参加して良かったと思います。
- ・暑い夏休みずっと家にこもりがちになってしまって、子供と一緒に通学路を散歩しながら水やりに出かけ、目的を持って外に出るきっかけになって良かったと思います。子どもも普段じっくり見ることがない他の学年の花壇や学校のお花を見ることができて満足そうでした。虫対策を忘れてしまい、子供が蚊に沢山刺されてしましましたが、それもやった感があったようです

改善するとよい点



【畠の入り口、行き方】

- ・畠の入り口が分かりにくく外を一周してしまった。地図に入る方向の矢印があれば分かりやすい。
- ・水やりの場所（地図）が、ラミネートされて現地にあると、さらにわかりやすいかと思います。

【蚊・蜂の対策】

- ・親も学校の様子がわからず、校舎裏に草が茂っていたことを知らず、帽子と半袖半ズボンで行き、水やり中にたくさん蚊に刺されました。水やりといえど子供にはなかなか時間がかかる作業だったので、2回目は長袖長ズボンで行き、落ち着いて水やりができました。個人の対策の範疇かもしれません、水筒を持ってくことや帽子、虫除けや長袖長ズボンの方がいい事など記載してくださいといいのかなと思いました。



- ・蜂がいて怖かったので虫除けスプレーをした方がいいなと思った。
- ・しかたがないのかもしれないですが、南側校舎側はハチが多かったので個人的には怖かったです。

【雑草】

- ・南側の花壇の雑草が多いのが気になってしましました。人数必要で大変ですが草むしりの日があつてもいいのでは。



- ・雑草もあったので、水やりの範囲が少し分かりづらかったです。

【ホース】

- ・水やりの蛇口やホースが使いづらそうだった。
- ・ホースが絡まっているのか、ハンドルを回しても上手く出せなくてちょっと大変でした。子どもと2人だったので、何とかなりましたが。
- ・校舎南側の長いホースの巻き取りのホースがグチャグチャに巻き取られており、全てを一旦取り出すのに大分苦労しました。毎日あの長いホースを出したり巻いたり…も大変な作業の一つで、改善すると更に良いかもしれません。

多くの感想、改善点すると良い点をありがとうございました。また来年度に向けて、改善・対策の参考にさせていただきたいと思います。ボランティアに参加していただいた皆様に心から感謝申し上げます。